

資料3 上庄川水系流域治水プロジェクト
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、上庄川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成17年7月洪水と同規模の洪水による家屋浸水被害の解消を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 上庄川では、県、市、土地改良区が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】桑ノ院池における事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】上庄川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
 - 【中長期】上庄川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	上庄川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替等	富山県	下流部(河道掘削等) → 中上流部(堤防整備等)		
	桑院ため池における事前放流等の体制構築、実施等	富山県 土地改良区	R3に事前放流について基本協定を締結し体制の構築を図る		
	砂防関係施設の整備	富山県	整備期間が長くなるため、被害を減らす方法として堤防整備のみだけでなく、その他の洪水調整施設などの検討		
	森林整備・治山対策	富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	氷見市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、地区防災計画の策定、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 氷見市 住民	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R7年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 34.6億円※
河道掘削、堤防整備等
- 砂防対策
砂防堰堤、集水井等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
実施場所	上庄川		

【対策概要】

上庄川は、氷見市の上庄谷平地を流れる河川である。本川は流路が屈曲し、河積も狭小であるため、過去には降雨により幾度も氾濫している。平成27年度に事業着手し、河床掘削、築堤等の整備を実施し、浸水被害の解消を図っている。

【事業内容】

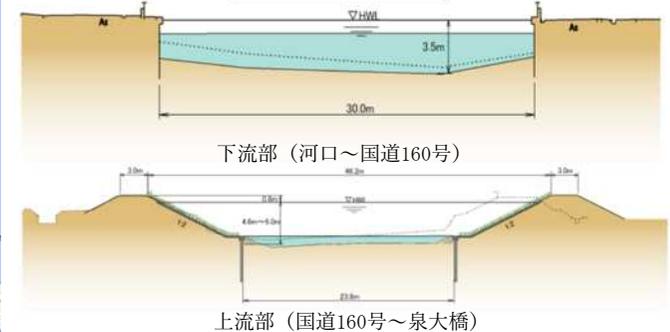
事業期間：平成27年度～

内容：計画延長5,600m (河道掘削、堤防整備、橋梁架替)



上庄川 計画延長L=5,600m

上庄川の整備



H17.7 出水時



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

土石流災害を防ぐ

砂防事業



・砂防堰堤 等

大地が動くのを防ぐ

地すべり対策事業



・集水井工
・横ボーリング工 等



(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県、土地改良区
メニュー名	桑院ため池における事前放流(体制構築、実施)		
事業・施策の名称	桑院ため池における事前放流(体制構築、実施)		
実施場所	氷見市 桑院ため池		

【対策概要】

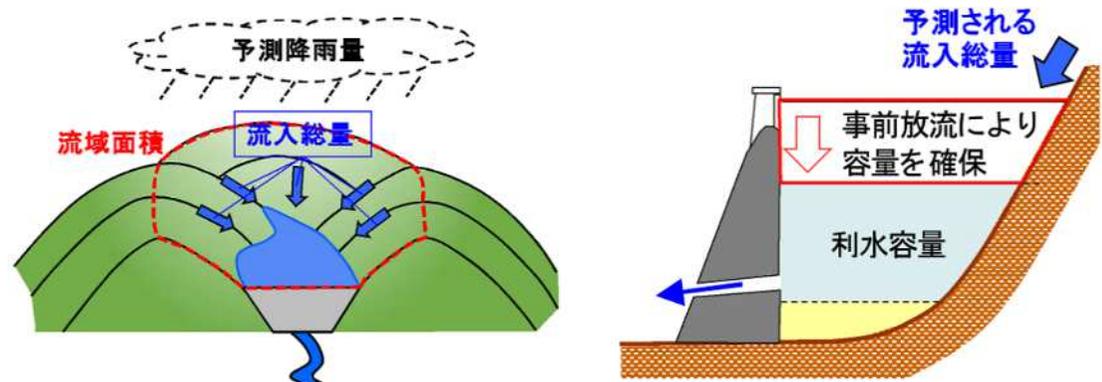
桑院ため池における事前放流等の体制構築、実施等



恒常的な水不足を解消するために、県営事業により築造され、昭和29年に完成しました。
その後、五位ダムからの補給水も貯水し、約1,500haの農地にかんがいている氷見市最大のため池です。

- ・高さ: 23.03m
- ・長さ: 85.55m
- ・総貯水量: 79万m³
- ・池の面積: 17.5ha

洪水が予想される場合、既存ダムの利水容量の一部を洪水調節に活用し、下流側への影響を軽減する

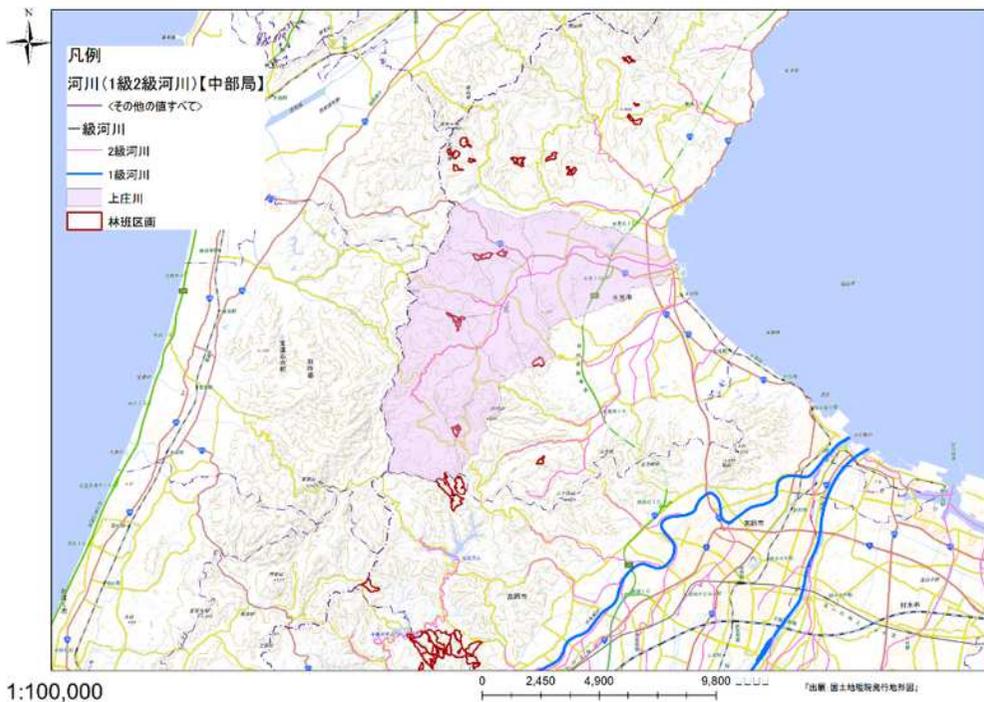


(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	森林整備(除間伐等)民有林保安林内		
実施場所	上庄川(下記位置図)		

【対策概要】

- ・ 除間伐等の森林整備を実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 水源林造成事業地は、上庄川流域に5箇所（森林面積 約30ha）があり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施します。



水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



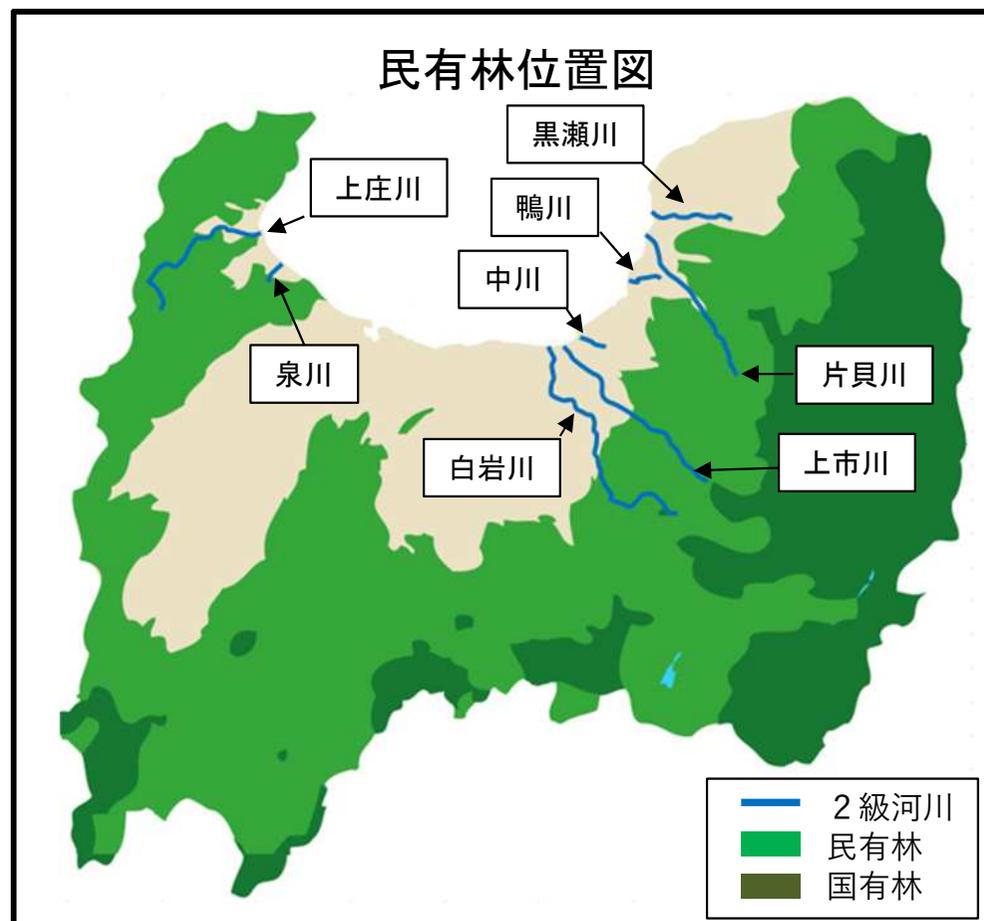
間伐実施後

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備（間伐等）や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



(様式:取組事例)

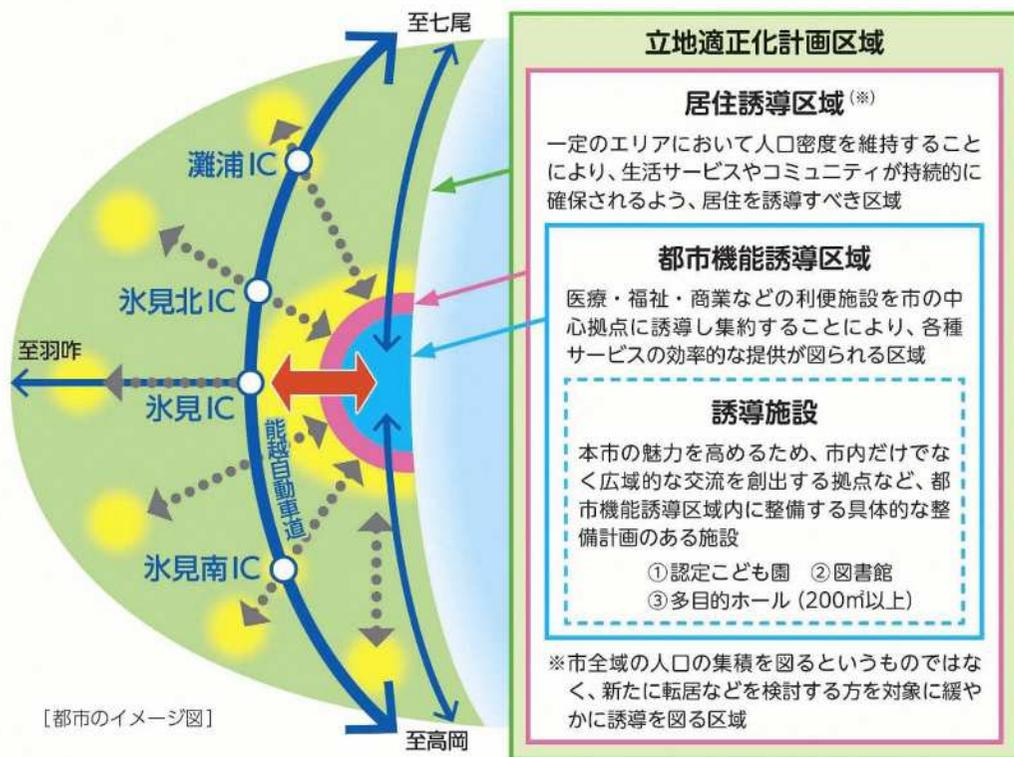
区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	上庄川流域		

【対策概要】

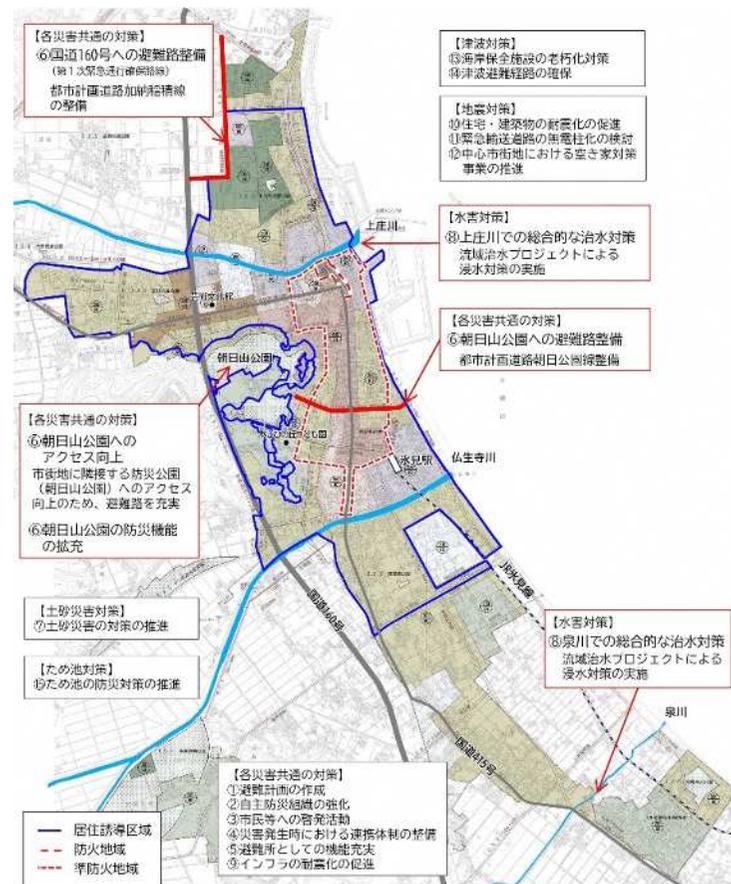
「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みを行う

取組み実績：「氷見市立地適正化計画」に防災指針を位置づけ、令和7年3月に公表

防災指針において、居住誘導区域における防災・減災の取組み方針を位置づけ



[都市のイメージ図]

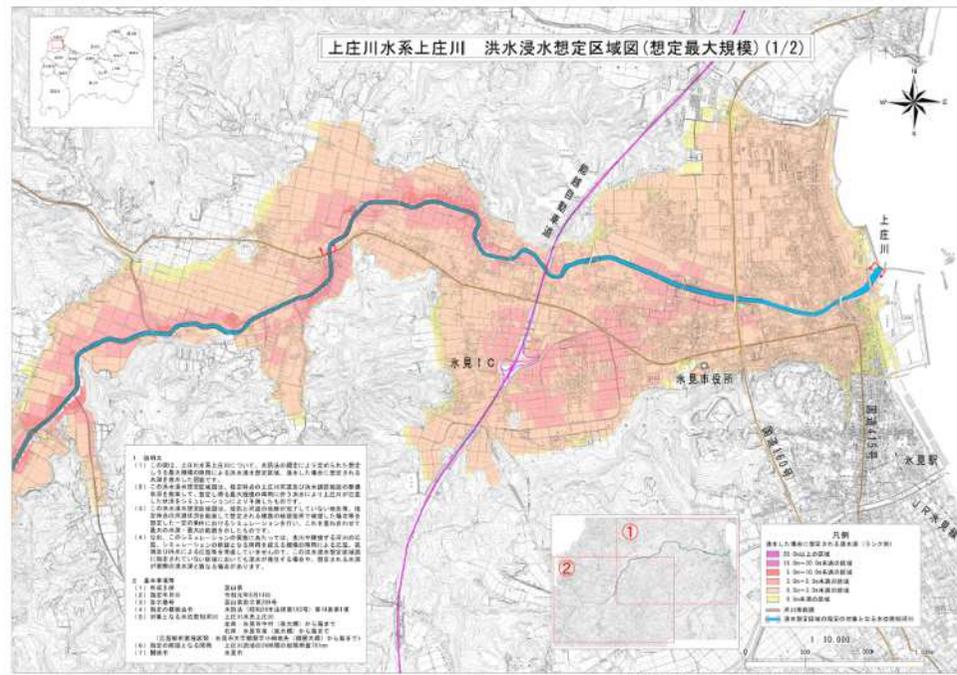


(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	上庄川流域		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



上庄川浸水想定図(想定最大規模)

はじめに

この災害ハザードマップは、大雨により市内を流れる河川がはん濫した場合や、山崩いでけがや命などの土砂災害が発生した場合に、みなさんの「安全確保のための避難」や「危険回避」など自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。まず、みなさんの地域の「危険度」を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、日ごろから備えましょう。

洪水浸水想定区域

- 平成27年5月水防法の改正に伴い、対象となる河川(阿見川、仏生寺川等)の最大規模の降雨(1,000年に一度程度の降雨)を想定した洪水浸水想定区域を定めています。
- 以前にみなさんに配布した「氷見市洪水浸水想定区域図(平成19年度版)」に比べて、浸水範囲が広く、浸水深が深くなっている箇所が多いので、再度確認してください。
- その他の小川や水路などがある内水はん濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定がされていない区域においても浸水する場合があります。

河川名	想定雨量	河川名	想定雨量
阿見川	24時間 813mm	上庄川	24時間 781mm
阿見川	24時間 813mm	仏生寺川	6時間 351mm
赤川川	24時間 813mm	兼川	24時間 813mm

土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域は、平成13年4月に制定された「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害の危険性のある区域について調査決定されたものです。土砂災害から命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、新規建築物立地の規制など、ソフト面での対策を推進しようとするものです。
- 人への影響を及ぼす区域を対象としており、指定されていない区域でも土砂災害が発生する可能性があります。

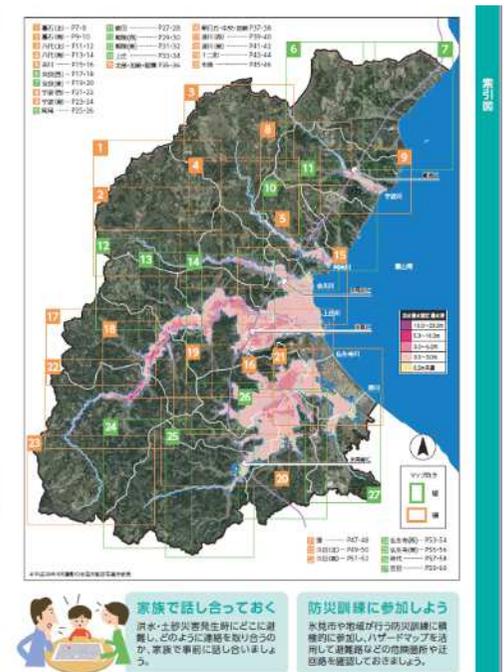
※豪雨が危険な地域については、同じく行っている浸水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップをご覧ください。

目次

表紙	はじめに	地図
避難の準備	マップ作成の目的・目次	洪水・土砂災害ハザードマップ
災害学習・避難活用情報1	避難活用	指定緊急避難場所一覧
洪水発生時の動き・浸水想定区域の考え方		指定緊急避難場所一覧
土砂災害警戒区域の概要		災害学習・避難活用情報2
土砂災害の避難と事前対策		災害学習・避難活用情報2
避難情報の入手方法・取るべき行動・警戒レベル		避難経路
お問い合わせ		お問い合わせ

この冊子の他冊子に活用している地図等は、氷見市全体の1:50,000の1:25,000縮尺で25.12倍を縮小したものです。

氷見市洪水ハザードマップ(想定最大規模)



家族で話し合っておく
洪水・土砂災害発生時にどこに避難し、どのように連絡を取り合おうか、家族で事前に話し合きましょう。

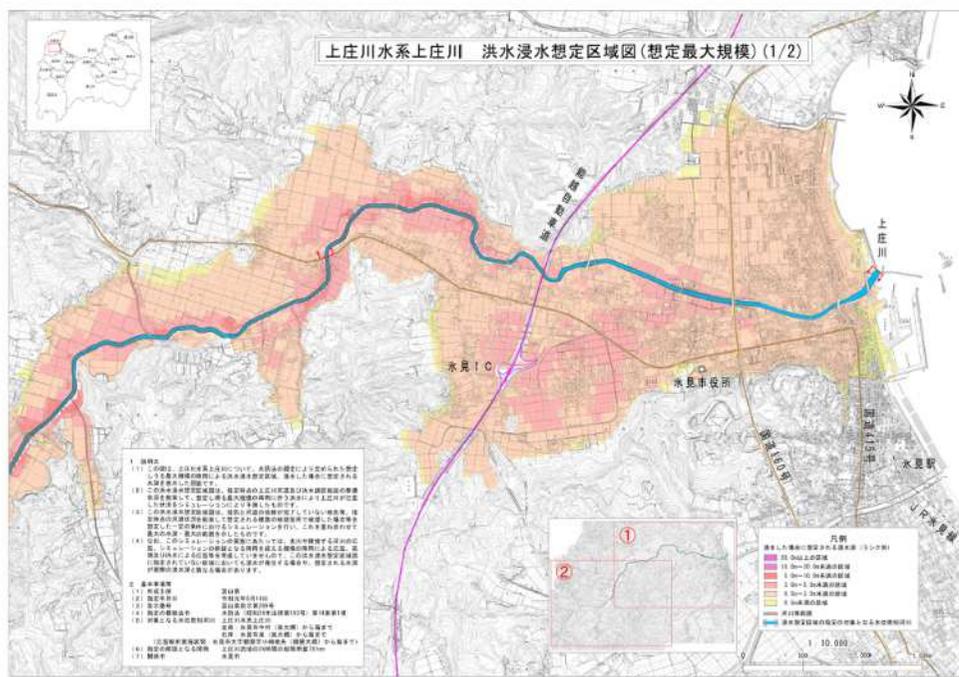
防災訓練に参加しよう
氷見市や地域が行う防災訓練に積極的に参加し、ハザードマップを活用して避難経路などの危険箇所や注目を確認しておきましょう。

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備		
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成		
実施場所	上庄川支流の県管理河川		

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。上庄川支流の県管理河川について、令和7年度に洪水浸水想定区域図を作成し公表する予定です。

- 【取組実績】
- 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
 - 令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施
 - 令和7年度 洪水浸水想定区域図の公表



参考例: 上庄川(本川)(水位周知河川)洪水浸水想定図(想定最大規模)



上庄川支流の河川(例: 桑院川)

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	氷見市、住民
メニュー名	地区防災計画の策定		
事業・施策の名称	地区防災計画の策定		
実施場所	各地区の被災時の活動体制、避難経路など		

地区防災計画の主な内容は、地区毎の平常時や災害時における住民の役割分担の確認や、防災訓練の実施内容について計画し、災害時には避難所設営・運営などの行動計画を盛り込むなど、自主防災組織が作成した住民のための地区防災マニュアル。

【令和7年に全22地区が策定】

令和7年に市内22のすべての自主防災組織で計画策定した。

【地区防災計画の策定状況】

(H30.2策定) 仏生寺、(R2.12策定) 十二町、(R4.3策定) 中央、(R6.2策定) 窪、宇波、八代、余川、碁石、女良、布勢、明和、(R7.2策定) 朝日丘、北部、加納、稲積、宮田、上庄、速川、神代、久目、阿尾、藪田



朝日丘地区防災計画

『家族を守り まちをまもる』

SDGs 住み続けられるまちづくりを

完全保存版

防災行政無線放送を聞く場合 電話0120-134-151(フリーダイヤル)
 火災発生情報等を聞く場合 電話0766-22-9999(有料)



朝日丘小学校

令和7年2月策定
朝日丘地区自主防災会

住民のみさまへ
※この地区防災計画書は、災害時にすぐに取出せるようにわかりやすい場所に保管ください!

講習会の様子 R6年度 氷見市



計画策定報告会 R6年度 氷見市



(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、氷見市、住民
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座の活用		
実施場所	県内小学校		

【取組概要】

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子ども達に正確な理解を進める。

【取組実績】 令和7年9月16日 富山市立水橋西部小学校
令和7年11月13日 氷見市立比美乃江小学校



スライドで説明している様子



富山県の地図をみて県内の河川について説明している様子

【5年生】疑問解決！上庄川の治水

☎2025年11月13日 ☎5年生の教室から

11月13日(木)に、富山県庁の河川課、氷見土木事務所の職員の方々をゲストティーチャーとして招き、上庄川の治水について授業を行いました。

子供たちが、上庄川の治水について調べていく中で生まれた疑問に答えていただいたり、富山県や氷見市が行っている治水工事について教えていただいたりしました。

上庄川を管理し、洪水が起きないように日々、取り組んでいる方々の話を聞き、これからの調べ学習に役立てようとする思いや、自分たちほどのようなことができるのか、必要なかについて考えることができました。

小学校HP



【水橋西部小学校が浸水したら(1m)】

さいごに～流域治水について～

その他ソフト対策

○マイ・タイムラインの作成(富山県防災課)

○ハザードマップの公表(氷見市)

説明資料



水橋大橋の架け替え工事について説明している様子



ドローンで撮影している水橋大橋の映像を見学している様子

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、県管理河川等の監視カメラ画像や水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日: 平成30年6月～【R5.3月危機管理型水位計を追加、R6.6月ダムの貯水位等を追加、R7.6月ダムの監視カメラ画像を追加(7ダム)】
- ・ 公開の内容: 河川・海岸・ダムの監視カメラ画像、河川・ダムの水位情報等
- ・ 公開HP: 「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>

河川・海岸・ダムの監視カメラ画像

ダムの貯水位等を追加 (R6.6)
ダムの監視カメラ画像を追加 (R7.6)

河川・ダムの水位情報



富山県河川海岸カメラ・水位情報

地域別河川・ダム状況表

河川名	観測所名	現況水位	水防団 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	冠氾濫 水位
新川土木 (魚津市、滑川市)						
新川	新川	0.54m	→ 0.70 m	1.00m	1.00m	1.20m
片貝川	栗城橋	0.33m	→ 1.00 m	1.50m	2.30m	2.50m
早月川	月形橋	0.04m	↑ 1.90 m	2.50m	3.90m	4.90m
中川	中川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	0.90m
深田川	深田川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	1.00m
角川	住吉	0m	→ 1.10 m	1.40m	1.80m	2.10m
布部川	同西	0.17m	→ 0.70 m	1.00m	1.30m	1.80m
布部川	坂野	0.21m	→ 0.80 m	1.50m	2.30m	2.80m
片貝川	栗城橋	0.89m	→ 1.00 m	1.90m	2.40m	2.70m
入善土木 (朝日町、入善町、黑部市)						
黒瀬川	新田橋					1.80m
木流川	木流橋					2.10m
舟川	笠橋					1.60m

国土交通省「川の防災情報」へリンク

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】 ・ 配信開始日:令和6年6月～

・ 配信の内容:受け取りたい河川の水位(46観測所)や、ダムの貯水水位(16ダム)が、各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

かわ とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると



自動的にメールを配信



登録ユーザー



自動的にメールを配信



事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

ダムの貯水水位が上昇し、基準値を超えると

配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫危険水位 (レベル4) ・ 避難判断水位 (レベル3) ・ 氾濫注意水位 (レベル2) ・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が <ul style="list-style-type: none"> ・ 100%の貯水水位 ・ 80%の貯水水位 ・ 50%の貯水水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水水位



(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、富山市、住民
メニュー名	流域治水ワークショップへの参加		
事業・施策の名称	流域治水ワークショップへの参加		
実施場所	ユウタウン総曲輪 ウェストプラザ(富山市)		

【取組概要】

「流域治水」という概念・取組を普及啓発するとともに、地域住民の幅広い年代の方々が、水災害に対するリスクや河川に対する興味・関心を持ってもらうきっかけとなるよう、自治体や研究機関（大学）と連携した流域治水ワークショップに参加している。

■水とくらしは、どうつながってる？みんなの流域じまん

- 開催日：令和7年7月26日(土)
- 場所：ユウタウン総曲輪ウェストプラザ(富山市)
- 主催：一般社団法人流域ふらっとフォーム
- 共催：富山市、富山県立大学
- 後援：富山県、富山河川国道事務所、富山市教育委員会、中部地方環境事務所
- 協力：東京大学、中央大学、福島大学、宮崎大学 他
- 内容：ポスター展示、ブース出展、グラフィックレコーディング、流域治水に関する漫談・コンテスト



富山県出展ブース状況



流域漫談
グラフィックレコーディング

